

穂中学力向上 プロジェクト2022

vol.3

穂別中の学力について現状と課題

全国と比較すると…

- 英語の「読むこと」「書くこと」の領域の学力が低い。
- 数学の「関数」の領域の学力が全学年において低い。
- 国語の「書くこと」の領域の学力が低く全校的な課題。
- (R4全国学力学習状況調査より) 国語の「読むこと」の領域の学力が低い。
- (〃) 理科・数学において、筋道を立てて考え、記述する問題の正答率が低い。

※CRT、全国学力・学習状況調査の結果分析より

生徒の皆さんには…

- ①自分で考えて「書く力」をつけてほしい！
- ②わかるまで「粘り強く」取り組んでほしい！

学校の具体的な取組

01

全校での取組1

全ての教科の授業で、**問題をよく読む時間を設定します**。また、文章を記述する場面を多く設定します。

例・振り返りシートの記入
・単元や毎時間のまとめの工夫

02

全校での取組2

これまでに出题されたチャレンジテストを、週末課題として全校で取り組みます。

03

教科の取組

英語科・数学科において、少人数指導を徹底して行い、特に、英語の「読むこと」や、数学の「関数」について、きめ細やかな指導をします。

NEW

1年間の成果と課題

- 生徒は毎時間文章を記述する時間が取られていると感じている。
(授業アンケート結果 全学年評価3.5以上のA) 【取組1】
- 短い英文の概要を捉える力が向上した。(英検IBAより) 【取組3】
- 広く周知したことで、学校全体の取組として定着した。 【取組全体】
- 数学の「関数」の領域に対する苦手意識はまだ残る。
- 小学校と連携して、系統立てた取組を今後考えていく必要がある。